

第2号

発行責任者 樋口 秀敏
 事務所 南魚沼市塩沢 1412-2
 阿部アパート 101号室
 電話 025-782-5233
 E-mail h-higuchi@kta.biglobe.ne.jp

ひぐち秀敏の県議会だより

にじいろ



9月定例会

知事 責任は明言せず 地域医療を守る意見書採択

新潟県議会9月定例会が、9月24日から10月11日までの日程で開催されました。6月議会に引き続き、県財政が危機に陥った原因と責任の所在を中心に論戦が交わされました。花角英世知事は「将来の見通しが十分ではなかった」と原因を明確に示しませんでした。「誤った判断をした責任は、組織としての県にある」と責任の所在を曖昧にしました。ひぐち秀敏県議は、一問一答で知事と質疑する連合委員会で、医療体制や原子力防災について花角知事の考えをたどりました。最終日には、樋口県議が委員会を代表して趣旨説明した「地方の地域医療を守ることを求める意見書」が全会一致で採択されました。

連合委員会

魚沼医療再編の完成図る

樋口 厚生労働省は9月26日に再編・統合の議論が必須な病院名を公表した。魚沼地域の医療再編は4年前に行われたばかりだが、再編区域内の病院が3つ含まれている。魚沼地域の医療再編は最善のものとして進めてきたことから、魚沼基

幹病院の全面開院を急ぎ、計画の完成を図るべきだ。**知事** 国の再検証要請は機械的に選定されたもので、必ずしも地域の実情が考慮されたものではなく、直ちに再編統合につながるものではない。魚沼地域の医療再編は、従前は受けられな

かった高度医療、三次救急医療を受けられるよう、魚沼基幹病院を設置することで、地域完結型の医療をめざして進められてきた。運営財団では令和3から4年度の病棟フル稼働をめざしており、県としても計画の完成を図っていく。

樋口 10月1日の新潟日報の企画記事に知事の「防災・減災対策をもう一段高レベルで加速させる」「防災のための施設整備を進める」とのコメントが掲載された。防災・減災が聖域のように感じられる。厚生労働省から再編・統合の議論が必要な病院名が公表され、県民に地域の病院がな

くなるのではとの不安を与えている。防災・減災のみを聖域化することなく、県立病院が果たさなければならぬべき地医療などの役割が果たされるよう改革議論を進めていくべきだ。**知事** 特定の分野を聖域化することはまったく考えていない。地域で必要とされる持続可能な医療提供体制を確保していくことが極めて重要だ。一方で県立病院を取り巻く医療環境は大変厳しく、危機的な経営状況にある。県立病院経営委員会からの提言や行財政改革行動計画等を踏まえ、県立病院が果たすべき役割・あり方や機能・規模などを検討する。地域の基幹的な病院と他の医療機関との連携を深め、相互補完の中で地域の医療ニーズに地域内でこたえられる体制づくりに取り組んでいく。

樋口 県立病院では多くの

臨時・パート職員が、良質な医療サービスを提供している。臨時・パート職員

重要なスタッフとして働いている。臨時・パート職員

東電の適格性示さず

樋口 県の一般行政職員は2005年度から17年度までに1267人が削減された。新潟県行財政改革行動

計画(案)では「業務の見直しに合わせて着実に定員削減に取り組む」としている。今後の災害時にどのよ

うな体制で臨むのか。**知事** 中越沖地震対応時と同水準の本部要員を維持している。本県のみで対応が困難な大規模災害発生時には、他の都道府県から人的支援を受ける体制を整えている。

地方の地域医療を守ることを求める意見書

国会並びに政府におかれては、地方の地域医療を守っていくために、下記の事項を強く要望する。

- 1 国の医療制度改革に当たっては、地方の実情に十分配慮すること。
- 2 不採算医療を担うという自治体が設置する病院等の公立・公的医療機関の役割に鑑み、交付金をはじめとした支援に意を用いること。

新潟県議会議長

衆議院・参議院議長 様
 内閣総理大臣 様
 財務・総務・厚労大臣 様

再編・統合の議論の必要があるとされた県内の病院

医療圏	医療機関
下越	県立坂町病院 (村上市) 県立リウマチセンター (新発田市)
新潟	厚生連新潟医療センター (新潟市) 国立病院機構西新潟中央病院 (同) 厚生連豊栄病院 (同) あがの市民病院 (阿賀野市)
県央	県立吉田病院 (燕市) 厚生連三条総合病院 (三条市) 県立加茂病院 (加茂市)
中越	見附市立病院 (見附市) 国立病院機構新潟病院 (柏崎市) 厚生連小千谷総合病院 (小千谷市)
魚沼	魚沼市立小出病院 (魚沼市) 南魚沼市立ゆきぐに大和病院 (南魚沼市) 町立湯沢病院 (湯沢町) 県立松代病院 (十日町市)
上越	上越地域医療センター病院 (上越市) 新潟労災病院 (同) 県立柿崎病院 (同) 厚生連けいなん総合病院 (妙高市) 県立妙高病院 (同)
佐渡	佐渡市立両津病院 (佐渡市)

来年度は13病院維持

ひぐち秀敏議員の、厚生環境委員会における主な質問と執行部の答弁は次のとおりです。

病院局

樋口 県立病院の役割・あり方はどうあるべきか。

病院局長 へき地等における医療や救急、精神などの不採算、特殊部門に関わる医療、民間では困難等の高度医療と考えている。

樋口 人事委員会から給与引き上げ勧告が出された場合、尊重するか。行財政改革行動計画(案)との整合をどう図るか。

病院局長 勧告制度は労働基本権の代償措置で、尊重すべき。しかし、歳出削減、歳入確保に取り組んでも収支不足を埋めきれないと。

樋口 来年度は現在ある13病院を動かすに足る人数か。

総務課長 国からの再検証要請、県立病院経営委員会の最終提言も踏まえて検討する必要があるということ。

樋口 来年度は現在ある13病院を動かすに足る人数か。

総務課長 来年度は、13病院維持の方向で考えている。

樋口 県立病院では、臨時パート職員も定数だ。大量の離職や応募者が少ないと病院運営に支障を来す。会計年度任用職員制度は、処遇の改善につなげるべきだ。

総務課長 国や他県、県内

樋口 F I S アルペンスキー・ワールドカップ2020にいがた湯沢苗場大会が来年度2月22・23日に開催される。現在までの準備状況は。

スポーツ課長 昨年、組織委員会、実行委員会を立ち上げた。9月18・19日に国際スキー連盟の現地視察を受け、具体的な準備を進めている。

樋口 視察を受けて県の持ち出し(予算)増はないか。

スポーツ課長 大会経費の増加につながる大きな指摘はなかったと認識している。

樋口 今後のPR活動は。スポーツ課長 苗場プリンスホテル、越後湯沢駅、県内スキー場などにポスターやチラシを配布。ホームページやSNSなどを使ってPRしている。関係機関、湯沢町と連携しながら周知を図る。

県民生活・環境部

スキーWC準備進む

福祉保健部

厚労省発表に広がる不安

樋口 行財政改革の中、防災・減災が聖域になっていないか。病院事業をしっかりと守っていく決意を伺う。

病院局長 県立病院でしか果し得ない役割、使命が大変厳しい状況に追い込まれている。そういうものが今後もしんど果たせるよう、関係者の意見を聞きながら引き続き検討していく。

樋口 中央福祉相談センターを視察した。畳や壁の痛みがひどい。長岡、上越を含めた施設整備の予定は。

児童家庭課長 中央は近日中に予算配当、修繕の見込み。一時保護所はハード整備が必要な課題を抱えていると承知している。物件を探索など検討を始めている。

樋口 一時保護所の夜間の嘱託員が集まらないと聞く。正規職員による交代制に切り替えられないか。

児童家庭課長 中央は2名の欠員が生じ、1名確保した。人材確保に努める。採用困難だけをもって切り替えにはならない。

樋口 若草寮は来年度から指定管理での運営が決まっている。スタッフ全員の交代は子どもたちへの影響もある。現在の職員を派遣等で残せないか。

児童家庭課長 派遣は想定している。

樋口 指定管理移行に伴い、現在の職員定数を児童相談所の夜間などに振り替えることはできないか。

児童家庭課長 福祉保健部の中で活用できるように人事課に要望していく。**樋口** 魚沼基幹病院の包括ケア病棟の稼働状況は。

基幹病院整備室長 当初の20床は埋まり、10月1日に48床に増床した。

樋口 魚沼基幹病院の、現在の医師確保の状況は。

基幹病院整備室長 8人と面談したが条件面で折り合わず、採用に至っていない。

樋口 看護師の来年度の確保見込みは。

基幹病院整備室長 プロパー職員が1人定年退職。



再編・統合議論の対象とされた、ゆきぐに大和病院

樋口 厚生労働省が発表した再編・統合が必要な病院に北・南魚沼の病院が3つ含まれている。魚沼地域の医療再編はベストという認識でよいか。

副部長 ある程度、適当と考え進めてきた。医療情勢が変わり、地域医療構想という新しい枠組みの中で、今また魚沼の地でも改めて検討が必要になっている。

樋口 病院がなくなると不安に思った人が多くいると思う。福祉保健部としても地元で説明すべきだ。

医務薬事課長 10月に再編要請対象医療機関、市町村、保健所等を集めた説明会を開催。国が示した資料について説明し、情報共有を図る。

防災局

人員削減は災害時に不安

樋口 台風15号による被害状況把握の遅れは、自治体の職員不足が原因と言われている。行財政改革行動計画(案)では「着実に定数削減に取り組む」とある。さらなる人員定数の削減は、今後の災害対応に不安を感じる。

危機対策課長 より実践的な訓練、研修を強化し、即応力の強化に努める。

樋口 計画案が実行に移っていく中において、現場が回る立場で意見してほしい。